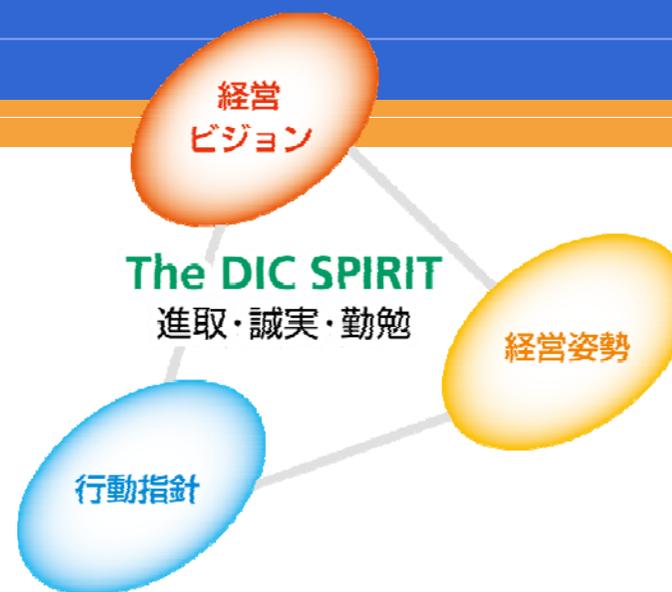


2011年度第1四半期決算 説明資料

2011年8月

Color & Comfort by Chemistry
「化学で彩りと快適を提案する」



DIC株式会社



◎目次

・セグメント別四半期業績推移	2
・2011年度第1四半期業績概要	3
・セグメント別業績	
印刷インキ事業部門	4
ニューグラフィックアーツ事業部門	5
合成樹脂事業部門	6
ケミカルソリューション事業部門	7
セグメント別業績一覧	8
・連結財務諸表 (B/S、P/L、C/F)	9、10
・当第2四半期累計及び通期の業績見通し	11

当社グループの決算期は、一部を除き、海外子会社が12月、国内会社は3月であるため、当第1四半期(3か月)の状況に関しては、海外子会社は2011年1～3月、国内会社は2011年4～6月について各々記載しています。

< 予想に関する注意事項 >

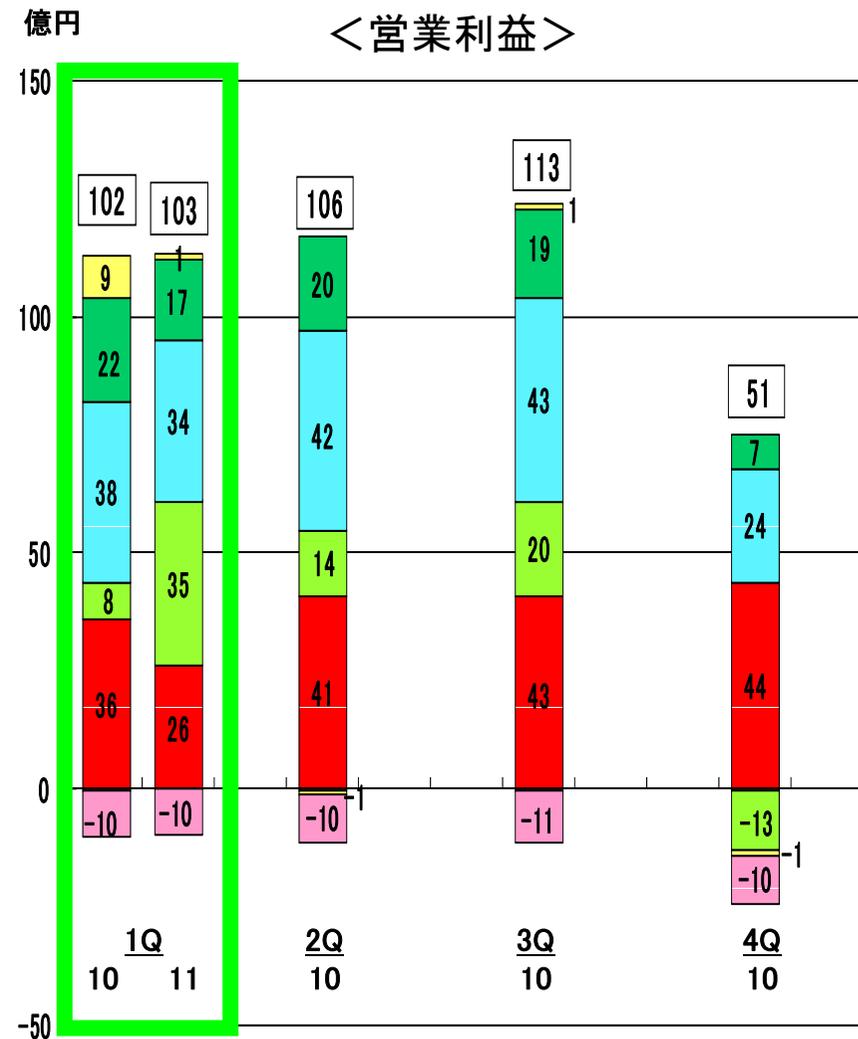
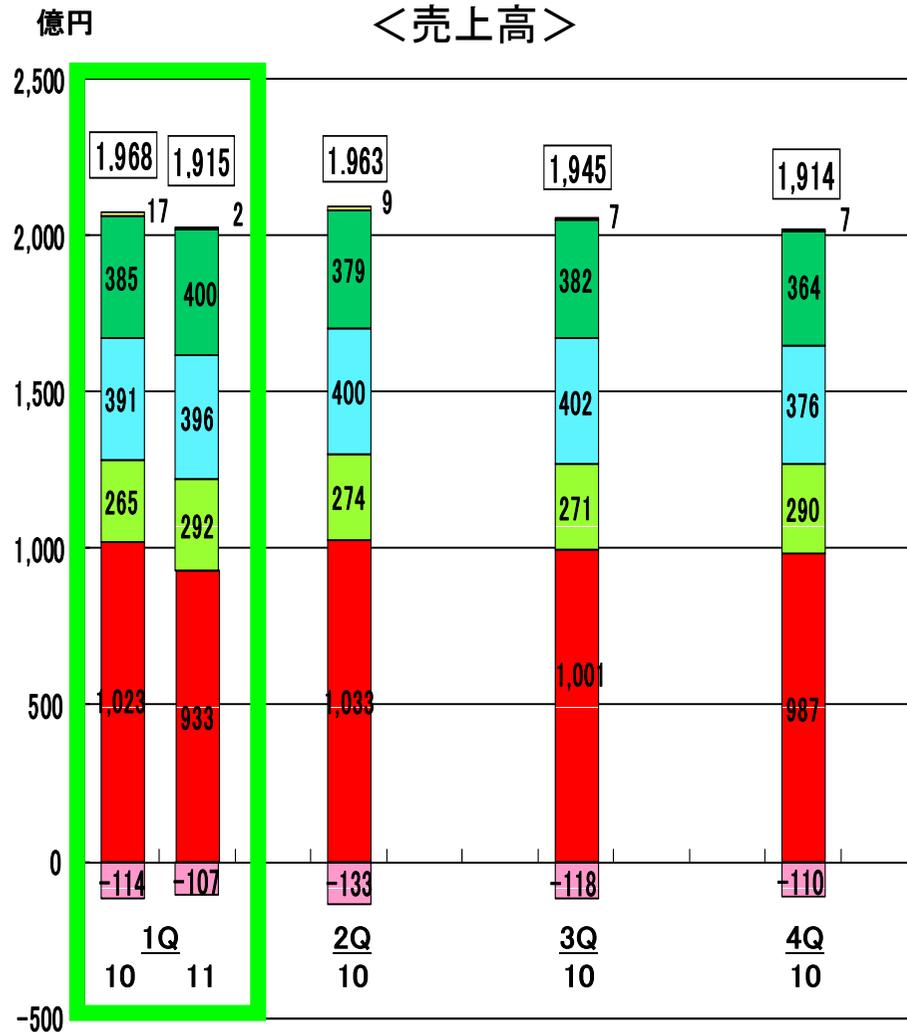
本資料では、情報の提供を目的としており、いかなる勧誘行為を行うものではありません。

業績見通しは、現時点で入手可能な情報に基づき、当社の経営者が判断した見通しですが、実際の売上高及び利益は、記載している予想数値とは大きく異なる場合がありますことをご承知おき下さい。当社は、業績見通しの正確性・完全性に関する責任を負うものではありません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負うものではありません。



◎セグメント別四半期業績推移



- 印刷インキ
- ニューグラフィックアーツ
- 合成樹脂
- ケミカルソリューション
- その他
- 全社・消去

※各グラフの上の数値は、全社・消去等のマイナス値を含めた連結数値であり、左の目盛りとは一致しません。

Color & Comfort by Chemistry



◎2011年度第1四半期業績概要

(単位:億円)

	前第1 四半期実績	当第1 四半期実績	前年同期比	
				為替影響 排除後
売上高	1,968	1,915	△2.7%	+1.8%
営業利益	102	103	+1.3%	+5.1%
営業利益率	5.2%	5.4%	—	—
経常利益	93	89	△3.7%	—
四半期純利益	60	85	+41.0%	—

為替換算 レート	円/US\$	91.09	82.12
	US\$/EUR	1.38	1.37

	前期末	当第1 四半期末	増減額
有利子負債残高	3,376	3,625	+248

- ・事業環境: 国内において東日本大震災による影響があったものの、国内外ともほぼ前年同期並みに推移。
- ・売上高: 国内外の印刷インキ需要は減少、TFT液晶は増大。為替影響排除後では1.8%の増収となるも、円高の影響により2.7%の減収。
- ・営業利益: 品目構成の改善などにより、前年同期比1.3%の増益。

1株当たり情報

1株当たり四半期純利益(単位:円)

前第1四半期	当第1四半期
7.26	9.26

1株当たり純資産 (単位:円)

前期末	当第1四半期
117.44	131.57



◎印刷インキ事業部門

(単位:億円)

	売上高					営業利益					売上高営業利益率	
	2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績
					為替排除後					為替排除後		
印刷インキ	1,023	933	△ 90	△ 8.8%	△ 2.4%	36	26	△ 10	△ 26.2%	△ 18.6%	3.5%	2.8%
日本	247	234	△ 13	△ 5.2%	△ 5.2%	8	7	△ 1	△ 6.3%	△ 6.3%	3.2%	3.2%
米州・欧州	661	579	△ 82	△ 12.4%	△ 3.4%	20	9	△ 11	△ 53.7%	△ 44.3%	3.0%	1.6%
アジア他	135	143	8	+ 6.1%	+ 11.2%	10	11	1	+ 12.0%	+ 15.4%	7.2%	7.6%
連結調整	△ 19	△ 23	△ 4	-	-	△ 2	△ 1	1	-	-	-	-

【日本】

<売上高>

- ・ オフセットインキ・新聞インキ: 従前からの減少傾向に加え、震災による用紙不足や一部原材料の調達難による生産への影響で減収。
- ・ グラビアインキ: 震災により飲料・食品向け軟包装材関連に特需発生するも、一部原材料の調達難による生産への影響で前年同期並み。

<営業利益>

- ・ 上記の売上状況や原材料価格の高騰などにより減益。

【米州・欧州】

<売上高>

- ・ 北米・欧州: 雑誌や新聞の発行部数減少の影響などで、出版インキと新聞インキが減収。パッケージ用インキは欧州中心に堅調。
- ・ 中南米: チラシ・カタログ関連が減収となるも、主力のパッケージ用インキが堅調で、増収。
- ・ 全体: 北米の落ち込みが響き減収。

<営業利益>

- ・ 合理化によるコスト削減効果あるも、上記の売上状況や原材料価格の高騰などにより減益。

【アジア・オセアニア】

<売上高>

- ・ 中国: 新聞インキやオフセットインキが堅調で増収。
- ・ 東南アジア: グラビアインキが堅調で増収。
- ・ オセアニア: オフセットインキとグラビアインキが堅調で増収。
- ・ インド: 全品目で増収。

<営業利益>

- ・ 上記の増収効果などにより増益。



◎ニューグラフィックアーツ事業部門

(単位:億円)

	売上高					営業利益					売上高営業利益率	
	2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績
					為替排除後					為替排除後		
ニューグラフィックアーツ	265	292	27	+ 9.8%	+ 17.9%	8	35	27	4.4倍	4.3倍	3.0%	11.9%
日本	88	119	31	+ 34.8%	+ 34.8%	6	24	18	4.0倍	4.0倍	6.8%	20.2%
海外	183	180	△ 3	△ 1.6%	+ 9.6%	2	11	9	4.6倍	4.4倍	1.3%	5.9%
連結調整	△ 6	△ 8	△ 2	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-

<売上高>

- 有機顔料：国内ではカラーフィルター用が、海外では塗料・プラスチック用が各々好調に推移するも、国内外ともにインキ用が苦戦し減収。
- TFT液晶：大手ユーザー向けに出荷が急拡大し、大幅な増収。
- 光ディスク保護コート剤：需要の縮小により減収。

<営業利益>

- TFT液晶の増収効果や品目構成の改善などにより増益。

主要製品の売上高推移

(2010 1Qを100とした指数)

	2010 1Q	2011 1Q
顔料	100	97
液晶	100	392
インクジェットインキ	100	93
特殊磁気テープ	100	103
光ディスク用 保護コート剤・接着剤	100	74



◎合成樹脂事業部門

(単位:億円)

	売上高					営業利益					売上高営業利益率	
	2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績
					為替排除後					為替排除後		
合成樹脂	391	396	5	+ 1.1%	+ 2.2%	38	34	△ 4	△11.2%	△10.9%	9.8%	8.6%
日本	315	305	△ 10	△2.9%	△2.9%	32	29	△ 3	△10.5%	△10.5%	10.3%	9.5%
海外	85	98	13	+ 16.5%	+ 23.0%	6	5	△ 1	△15.1%	△12.9%	6.7%	4.9%
連結調整	△ 8	△ 8	△ 0	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-

<売上高>

- ・ 国内では、震災影響による自動車関連需要の減速や、電気・電子分野の在庫調整により、塗料用樹脂や改質剤が苦戦し減収。
- ・ アジアでは需要拡大により、中国、東南アジアとも好調。

<営業利益>

- ・ 品目構成の悪化や原材料価格の高騰などにより減益。

主要製品の売上高推移

(2010 1Qを100とした指数)

	2010 1Q	2011 1Q
塗料用樹脂	100	99
ウレタン樹脂 (うち水性ウレタン)	100 (100)	97 (114)
エポキシ樹脂	100	104
改質剤	100	94
不飽和ポリエステル樹脂	100	97



◎ケミカルソリューション事業部門

(単位:億円)

	売上高					営業利益					売上高営業利益率	
	2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績
					為替排除後					為替排除後		
ケミカルソリューション	385	400	15	+ 3.9%	+ 4.5%	22	17	△ 5	△22.2%	△21.9%	5.6%	4.2%
日本	354	366	12	+ 3.3%	+ 3.3%	18	15	△ 3	△15.3%	△15.3%	5.0%	4.1%
海外	40	45	5	+ 13.2%	+ 20.4%	2	1	△ 1	△26.0%	△23.1%	4.5%	3.0%
連結調整	△ 9	△ 11	△ 2	-	-	2	0	△ 2	-	-	-	-

<売上高>

- ・PPSコンパウンドは、震災による生産停止や自動車関連需要の減少で減収。
- ・主に震災需要により、軽量容器向けポリスチレンや食品パッケージ向け多層フィルムなどが伸長。

<営業利益>

- ・品目構成の悪化や原材料価格の高騰などにより減益。

主要製品の売上高推移

(2010 1Qを100とした指数)

	2010 1Q	2011 1Q
ポリスチレン	100	130
パレット・コンテナ	100	135
PPS(コンパウンド・ポリマー)	100	96
樹脂着色剤	100	125
多層フィルム	100	108
工業用粘着テープ	100	88
機能性光学材料	100	100
化粧板	100	79



◎セグメント別業績一覧(2011年度第1四半期実績)

(単位:億円)

	売上高					営業利益					売上高営業利益率	
	2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績	増減	前年同期比		2010年度 1Q実績	2011年度 1Q実績
					為替排除後					為替排除後		
印刷インキ	1,023	933	△ 90	△ 8.8%	△ 2.4%	36	26	△ 10	△ 26.2%	△ 18.6%	3.5%	2.8%
日本	247	234	△ 13	△ 5.2%	△ 5.2%	8	7	△ 1	△ 6.3%	△ 6.3%	3.2%	3.2%
米州・欧州	661	579	△ 82	△ 12.4%	△ 3.4%	20	9	△ 11	△ 53.7%	△ 44.3%	3.0%	1.6%
アジア他	135	143	8	+ 6.1%	+ 11.2%	10	11	1	+ 12.0%	+ 15.4%	7.2%	7.6%
連結調整	△ 19	△ 23	△ 4	-	-	△ 2	△ 1	1	-	-	-	-
ニューグラフィックアーツ	265	292	27	+ 9.8%	+ 17.9%	8	35	27	4.4倍	4.3倍	3.0%	11.9%
日本	88	119	31	+ 34.8%	+ 34.8%	6	24	18	4.0倍	4.0倍	6.8%	20.2%
海外	183	180	△ 3	△ 1.6%	+ 9.6%	2	11	9	4.6倍	4.4倍	1.3%	5.9%
連結調整	△ 6	△ 8	△ 2	-	-	△ 0	0	0	-	-	-	-
合成樹脂	391	396	5	+ 1.1%	+ 2.2%	38	34	△ 4	△ 11.2%	△ 10.9%	9.8%	8.6%
日本	315	305	△ 10	△ 2.9%	△ 2.9%	32	29	△ 3	△ 10.5%	△ 10.5%	10.3%	9.5%
海外	85	98	13	+ 16.5%	+ 23.0%	6	5	△ 1	△ 15.1%	△ 12.9%	6.7%	4.9%
連結調整	△ 8	△ 8	△ 0	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	-
ケミカルソリューション	385	400	15	+ 3.9%	+ 4.5%	22	17	△ 5	△ 22.2%	△ 21.9%	5.6%	4.2%
日本	354	366	12	+ 3.3%	+ 3.3%	18	15	△ 3	△ 15.3%	△ 15.3%	5.0%	4.1%
海外	40	45	5	+ 13.2%	+ 20.4%	2	1	△ 1	△ 26.0%	△ 23.1%	4.5%	3.0%
連結調整	△ 9	△ 11	△ 2	-	-	2	0	△ 2	-	-	-	-
その他	17	2	△ 15	△ 86.9%	△ 78.0%	9	1	△ 8	△ 85.4%	△ 85.0%	-	-
全社・消去	△ 114	△ 107	7	-	-	△ 10	△ 10	0	-	-	-	-
連結合計	1,968	1,915	△ 53	△ 2.7%	+ 1.8%	102	103	1	+ 1.3%	+ 5.1%	5.2%	5.4%
円/US\$	@91.09	@82.12				@91.09	@82.12					
US\$/EUR	@1.38	@1.37				@1.38	@1.37					

Color & Comfort by Chemistry



◎連結財務諸表(1)

連結貸借対照表

(単位:億円)

科 目	前期末	当第1 四半期末	増 減
現金・預金	230	182	△48
受取手形・売掛金	1,854	2,160	+306
たな卸資産	1,223	1,336	+113
その他の流動資産	242	265	+23
流動資産 合計	3,548	3,943	+395
有形固定資産	2,206	2,168	△38
無形固定資産	123	119	△5
投資その他の資産	1,160	1,184	+24
固定資産 合計	3,490	3,471	△18
資産 合計	7,038	7,414	+377

科 目	前期末	当第1 四半期末	増 減
支払手形・買掛金	1,212	1,259	+47
短期借入金(含む長借1年以内・CP)	722	1,014	+292
その他の流動負債	709	660	△49
流動負債 合計	2,644	2,933	+289
長期借入金・社債	2,654	2,611	△43
その他の固定負債	436	436	+1
固定負債 合計	3,090	3,047	△43
負債 合計	5,734	5,980	246
株主資本:			
資本金	912	912	0
資本剰余金	888	888	0
利益剰余金	395	461	+67
自己株式	△7	△7	0
その他の包括利益累計額:			
為替換算調整勘定	△925	△855	+70
その他	△185	△192	△7
少数株主持分	226	227	+0
純資産 合計	1,304	1,434	+130
負債及び純資産合計	7,038	7,414	+377

換算レート(期末)	2010年12月末	2011年3月末
円/US\$	81.49	83.15



◎連結財務諸表(2)

連結損益計算書

(単位:億円)

科 目	前第1 四半期	当第1 四半期	増 減
売上高	1,968	1,915	△53
売上原価	1,548	1,526	△22
販売費及び一般管理費	318	286	△32
営業利益	102	103	+1
金融収支	△16	△13	+3
持分法による投資利益	3	6	+3
為替差損益	3	△9	△12
その他	0	1	+1
経常利益	93	89	△3
特別利益	0	32	+32
特別損失	△16	△4	+13
税金等調整前 四半期純利益	76	118	+41
法人税等	△11	△28	△17
少数株主利益	△5	△4	+0
四半期純利益	60	85	+25

換算レート(平均)	前第1 四半期	当第1 四半期
円/US\$	91.09	82.12

連結キャッシュ・フロー(レビュー対象外のため参考情報)

(単位:億円)

		前第1四半期	当第1四半期
営業活動 による キャッシュ・ フロー	税金等調整前当期純利益	76	118
	減価償却費	82	71
	法人税等の支払額	△29	△18
	持分法による投資利益	△3	△6
	運転資本の増減額 (うち売掛債権流動化抑制による影響額)	△428	△316
	その他	(△298)	(△238)
	計	△325	△275
		(△27)	(△37)
投資活動 による キャッシュ・ フロー	有形・無形固定資産の取得による支出	△48	△48
	有形・無形固定資産の売却による収入	1	5
	投資有価証券の取得による支出	△1	△1
	その他	△1	49
	計	△49	5
フリーキャッシュ・フロー		△374	△270
		(△76)	(△32)
財務活動 による キャッシュ・ フロー	株式の発行による収入	175	-
	借入金の増減額 (うち売掛債権流動化抑制による影響額)	153	263
	配当金の支払額	(298)	(238)
	その他	△16	△18
	計	△5	△7
		307	237
		(9)	(△1)
現金及び現金等価物に係る換算差額		23	△18
現金及び現金等価物の増減額		△44	△51
現金及び現金等価物の期首残高		295	229
現金及び現金等価物の期末残高		252	178

※()内は、売掛債権流動化抑制による影響額を補正した数値。

Color & Comfort by Chemistry



◎当第2四半期累計及び通期の業績見通し

(単位:億円)

	2010年度 2Q累計 実績	2011年度 2Q累計 見通し	前年 同期比	2010年度 通期 実績	2011年度 通期 見通し	前期比
売上高	3,931	3,800 (3,700)	△3.3%	7,790	7,600 (7,600)	△2.4%
営業利益	208	200 (190)	△3.9%	372	430 (430)	+15.7%
経常利益	189	160 (150)	△15.5%	317	350 (350)	+10.4%
当期純利益	122	120 (90)	△1.9%	158	180 (180)	+14.2%

(注):()内の数値は2011年5月11日公表値

◎業績見通しの修正理由

当第2四半期累計は、国内を中心に需要が堅調に推移することが見込まれるうえ、固定資産処分損などの特別損失も減少する見込みであることなどから、上記の通り業績予想を修正。

なお、通期は、年度後半の景気動向など不透明要因が多いことから、前回の見通しを据え置く。

◎設備投資額、減価償却費

(単位:億円)

	2010年度 通期実績	2011年度	
		通期見通し (当初)	1Q 実績
設備投資額	208	350	48
減価償却費	330	350	71

円/US\$レートが1円円高になった場合の

円貨換算後の業績に与える影響度 (2011年度推定)

(単位:億円)

売上高	営業利益	有利子負債	為替換算調整
△33	△1	△3	△25